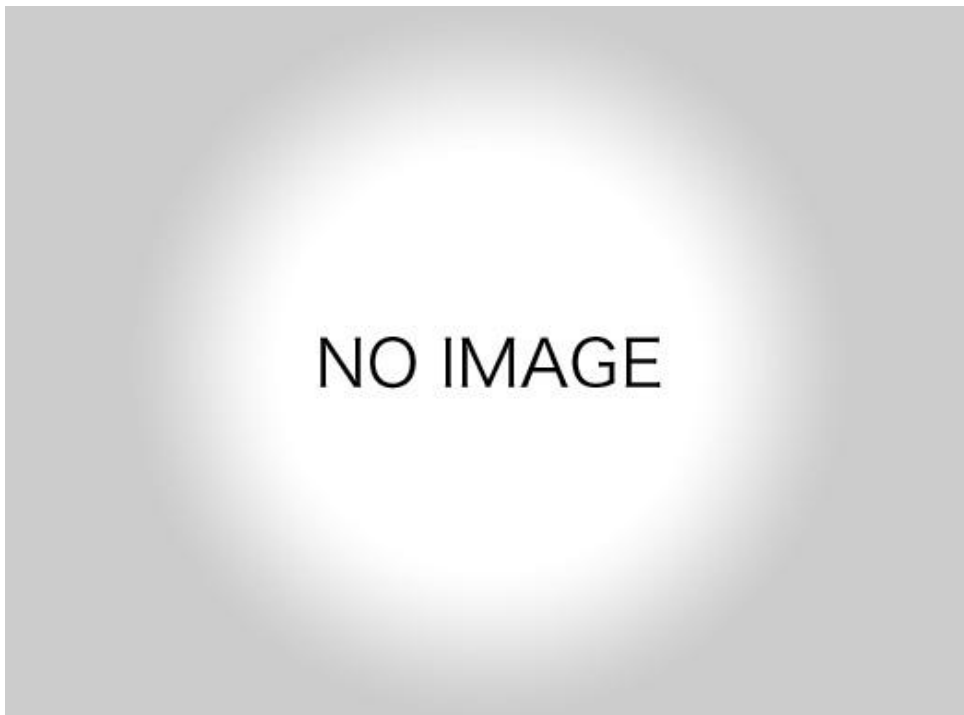


クロシオキシタバ

学名	Catocala kuangtungensis Mell	
目名	チョウ目	
目名学名	LEPIDOPTERA	
科名	ヤガ科	
科名学名	Noctuidae	
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：掲載なし



【選定理由】

Catocala(キシタバ)属は落葉樹林に分布する旧北区系の蛾であるが、その中で唯一ウバメガシ林に固有の、九州から本州南部にかけて分布するキシタバである。海岸部の開発に伴う伐採などの環境破壊は本種の絶滅につながる恐れがある。

県内分布	津久見市, 鶴見町
分布域	本州(南岸沿いに伊豆半島まで), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	中国南部広東省
生息環境	ウバメガシ林に固有。
現状	県南部の半島沿岸に局地的な生息地がある。ある程度の規模のウバメガシ林が残っている場所では個体数が多い。
備考	